

授業科目 検査機器総論

【担当教員名】 生駒 俊和	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	3	時間数	45

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

【概要・一般目標：GI0】

検査機器について、共通機器と検査系統別機器の種類、構造とその原理について習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 各種検査機器の原理を説明できる。
2. 各種検査機器の取り扱い上の注意を説明できる。
3. 各種検査機器の使用目的を説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	検査機器学総説	1	講義
2	化学容量器	1-3	講義
3	秤量装置	1-3	講義
4	遠心分離装置、分離分析装置	1-3	講義
5	攪拌装置、恒温装置、保冷装置	1-3	講義
6	滅菌装置	1-3	講義
7	測光装置 1	1-3	講義
8	測光装置 2	1-3	講義
9	顕微鏡装置 1	1-3	講義
10	顕微鏡装置 2	1-3	講義
11	電気化学装置	1-3	講義
12	専門機器（系統別機器）1 血液 1	1-3	講義
13	専門機器（系統別機器）2 血液 2	1-3	講義
14	専門機器（系統別機器）3 化学 1	1-3	講義
15	専門機器（系統別機器）4 化学 2	1-3	講義
16	専門機器（系統別機器）5 病理	1-3	講義
17	専門機器（系統別機器）6 微生物 1	1-3	講義
18	専門機器（系統別機器）7 免疫血清	1-3	講義
19	専門機器（系統別機器）8 生理 1	1-3	講義
20	専門機器（系統別機器）9 生理 2	1-3	講義
21	専門機器（系統別機器）10 生理 3	1-3	講義
22	専門機器（系統別機器）11 公衆衛生 1	1-3	講義
23	専門機器（系統別機器）12 公衆衛生 2	1-3	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 検査機器総論 第2版	三村 邦裕 他	医歯薬出版	2010・3,150円・2010年1月
参考書				
その他の資料	資料配布			

【評価方法】

定期試験（100％）

【履修上の留意点】

検査に使用される機器全般についての内容である。予習、復習を行って理解して取り組むこと。